

【取材のご案内】

報道関係各位

2018年3月吉日
学校法人 成蹊学園

“持続可能な社会の担い手を育む教育”

「成蹊学園サステナビリティ教育研究センター 開設」記者説明会

日時：3月27日(火) 13:00～ / 会場：成蹊サテライト・オフィス(千代田区丸の内)

成蹊学園(東京都武蔵野市吉祥寺北町)では、ユネスコが提唱し文部科学省が推進している“持続可能な社会の担い手を育む教育”「Education for Sustainable Development(以下:ESD)」の理念に通じる教育を、100年前の学園創立以来実践してきました。

そしてこのたび、これまでの蓄積及び小学校から中学・高等学校、大学までのワンキャンパスの利点を活かして学園全体で強力にESDを推進していくこと、そして将来的に新しい実践教育として他大学など教育機関のESDモデルケースとなることを目標として、

本年4月1日に「成蹊学園サステナビリティ教育研究センター」を開設します。

国内大学におけるESDに関わるセンター/研究所はまだ数が少なく、同一学校法人内の小学校から大学までが連携して取り組む例としては唯一のものです。

これに先駆け、報道関係の皆様へ、成蹊学園サステナビリティ教育研究センターをご説明する場として、来る3月27日(火)に、『成蹊学園サステナビリティ教育研究センター 開設』記者説明会を開催します。

説明会では、成蹊大学 北川学長をはじめ、当センター長、学園各校校長より、設立意義やこれまでの学園の実践教育の実績、3カ年の事業活動計画、今後の展開などについてご説明いたします。

時節柄ご多用とは存じますが、何卒ご取材いただけますようお願い申し上げます。

— 記 —

- 【名称】 「成蹊学園サステナビリティ教育研究センター 開設」記者説明会
- 【日時】 2018年3月27日(火) 13:00～14:30(報道受付 12:30～)
- 【会場】 成蹊サテライト・オフィス(東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル1階124区)
- 【内容】
- ご挨拶 成蹊大学 学長 北川 浩
 - 当センターのご説明(予定)
成蹊学園サステナビリティ教育研究センター センター所長 池上敦子
 - 日本学校教育におけるESDの展開
 - センター設立意義
 - これまでのESD活動紹介
 - 成蹊学園サステナビリティ教育研究センターの体系や展開、活動予定
 - 各校横断のESD活動展開についてご説明
小学校長 大場 繁、
中学・高等学校長 跡部 清、
大学学長補佐 小田宏信(センター副所長)
 - 質疑応答

本件に関するお問合せ先

成蹊学園 企画室 広報グループ

TEL:0422-37-3517 FAX:0422-37-3704 Email: koho@jim.seikei.ac.jp

■ ESD (Education for Sustainable Development) について

ESD は、「持続可能な社会の担い手を育む教育」です。ESD のねらいは、直接的には、持続可能な開発に関する価値観(人間の尊重、多様性の尊重、非排他性、機会均等、環境の尊重等)を共有することですが、それを通じて、体系的な思考力(問題や現象の背景の理解、多面的かつ総合的なものの見方)、代替案の思考力(批判力)、データや情報の分析能力、コミュニケーション能力、リーダーシップなどを育みます。小学校から高等学校までの現行の学習指導要領にも ESD の観点が盛り込まれています。

■ 成蹊学園のこれまでの ESD 取り組み

成蹊学園では、成蹊小学校の開設時からの 100 年に及ぶ栽培活動の歴史、旧制成蹊高等学校の開設時からの 90 年の気象観測の歴史に代表されるように、体験型・観察型の理科・環境教育が学園の教育を特徴づける非常に重要な存在であり続けてきました。

また、大学の発足後しばらくは大学の地学・地理学教室が中高と連携して地域環境に関わる研究・教育を推し進める姿もありました。他にも、高校生物におけるショウジョウバエ飼育なども代々の卒業生に語り継がれている取り組みであり、近年では夏の学校における植生観察なども重要な実績になっています。

持続可能な社会の実現を念頭に自らの体験・観察に基づいてデータを収集・分析し発信させるというアクティブ・ラーニングによる教育手法は、ESD として知られるようになってきましたが、本学園は長い歴史のなかでこれを実践してきた実績があります。

成蹊学園の理科教育を中心として蓄積されてきた教育資源を学校間で連携して維持し、さらに活性化させ、持続発展教育として明示していくことが、地球社会・地域社会に貢献することにつながると考えます。

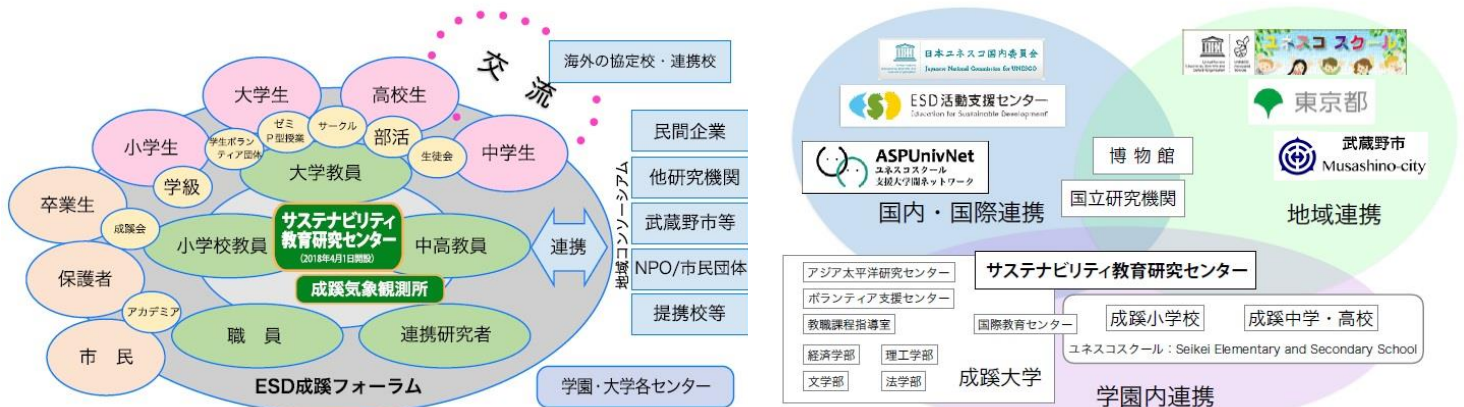
■ 成蹊学園サステナビリティ教育研究センター

成蹊学園における体験型・観察指向、本物指向の教育の伝統の上に、学園の設置する各校の連携によって、各校の実践してきた取り組みをいっそう明示化しつつ、教育研究を蓄積し、ユネスコの提唱する ESD の推進をはかるための母体です。

さらには、他校や研究機関等との連携をも強化して東京・武蔵野地域における学校教育、社会教育における ESD 活動のリーダー的、拠点的役割を担います。

これらを通じて、児童、生徒、学生の将来を考える力や意識の向上、そして、学園内の各校や地域における知的好奇心の向上と持続可能な社会の構築に貢献します。

当センターは、暫定的に本学園本館 1 階に置かれます。



Think Globally, Act Locally

FAX 返信票

FAX: 03-3574-9364

成蹊学園広報代行：共同ピーアール株式会社(担当:鈴木貴弘・木本)行

※誠にお手数ではありますが、3月26日(月)までにFAX返信票にて、ご出欠をお知らせ下さいませ
 ずようお願い申し上げます。

「成蹊学園サステナビリティ教育研究センター 開設」記者説明会

ご出欠	ご出席 ・ ご欠席
貴社名	
貴媒体名	
部署名	
カメラ	スチール ・ ムービー ・ 無 ○でお困み下さい
ご芳名	
ご同行者	有(名) ・ 無 ○でお困み下さい
お電話	
Email	
ご連絡事項	



<成蹊サテライト・オフィス アクセス>
 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル 1階 124 区
 TEL: 03-5220-1016
 JR「有楽町駅」より徒歩 2 分
 東京メトロ有楽町線「有楽町駅」直結
 都営地下鉄三田線「日比谷駅」直結

出典：三菱地所作成

◆ 個人情報の取り扱いについて：ご提供いただいた個人情報は上記の案件のみに使用し、他の目的には使用いたしません。